

奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書道の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の^{しんわよう}新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいります。

〔読み〕

秋の風あし音つしるより
来たる

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款(署名・捺印)は作品の一部としてバランスよく収めて下さい。
「〇〇かく」は、ご自分の名をお書き下さい。印のない方は赤ペンで□を書き入れて下さい。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

学
問
趣
意
読
精
働

◎今月は楷書、楷書は文字の組立ての基礎ですから、一点一画大切に運ペンし清書して下さい。
▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

精神の働きに在り
読書のみならずして
学問の本趣意は

おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

失
敗
原
因
新
鮮

新	原	失
鮮	因	敗
な	で	は
刺	ば	落
激	な	胆
で	く	の
あ		
る		

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範||行書
▼師範||楷書

◆11月課題予告(行草または草書)
遠くて近きもの
極楽 舟の道 人の中
清少納言

★学問の：(書体||楷書)
福沢諭吉(二八五、一九〇)
明治時代の啓蒙思想家
読書は学問の出発点でもなければ本質でもなく、読書によって何かを学んでもインプットだけでは無学と変わりありません。重要なのは活用すること、精神の働きだと言っています。
自分の頭で考えたことを自分の言葉で表して、日常に生かしたいものです。

◆11月課題予告(楷書)
子に対する
母の愛は何時も
無償である

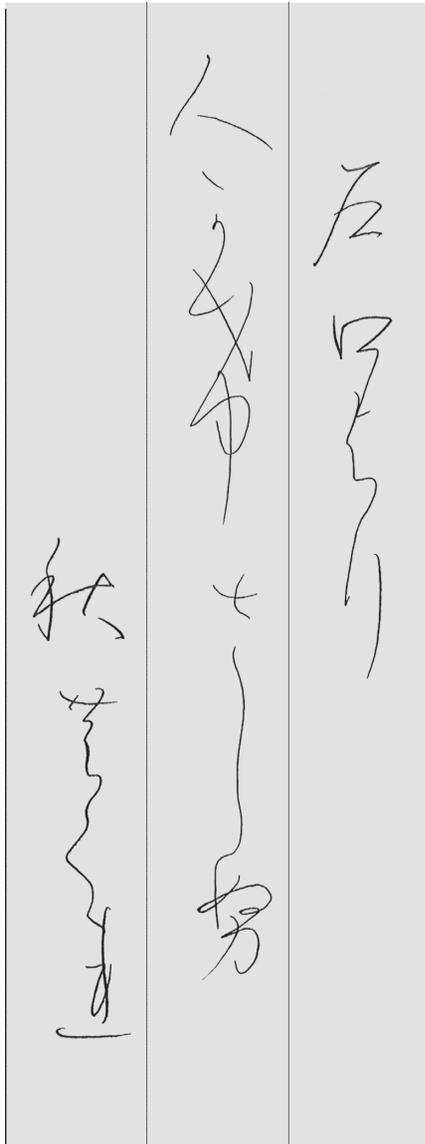
★失敗は：(書体||行書)
ホップズ(二五八、二五九)
イギリスの哲学者
一般社会では、圧倒的に上手くいかないことの方が多くあります。上手くいかない方が、むしろ学ぶことが多いのですが、上手くいかないことを怖れ、チャレンジの絶対数が少なくなることで、夢の実現を遅らせたり、成功を遠のけることになっているのではないのでしょうか。

一般部かな課題

締切り 10月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで



戸口より人影さしぬ秋の暮

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



戸口より人影さしぬ秋の暮

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

戸口より人影さしぬ秋の暮

(松岡青蘿)

【句解】秋の日暮れはひっそりと寂しい。誰もいない、物音絶えた部屋に座っていると、人の気配がして、戸口から土間に誰ともわからぬ人影がすとと伸びてきた。

【鑑賞】〈戸口より〉とはっきり場所を限定し、「覗いた」というような余計な説明を切り捨てた型が、ひっそり静まり返った秋の暮れの状況にふさわしいといえる。言葉もなく戸口からさし込んだ人影に秋の日暮れの不安な心が象徴されている。

【古筆参考】

利 人 影 さ ぬ 秋 の 暮
 希 人 影 さ ぬ 秋 の 暮
 農 人 影 さ ぬ 秋 の 暮
 連 人 影 さ ぬ 秋 の 暮

【解説】「人」の一・二画とも、真ん中あたりで筆圧をかけ、最後は筆圧を抜いて、用紙からペンを離す。

◆11月課題予告

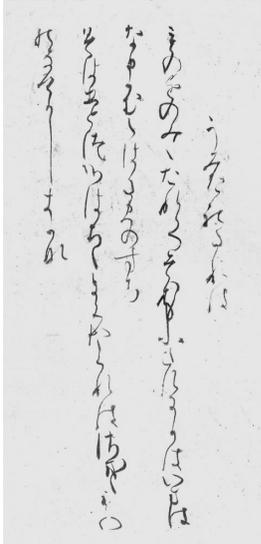
田の雁や里の人数はけふもへる
 (小林一茶)

締切り 十月二十五日(必着)

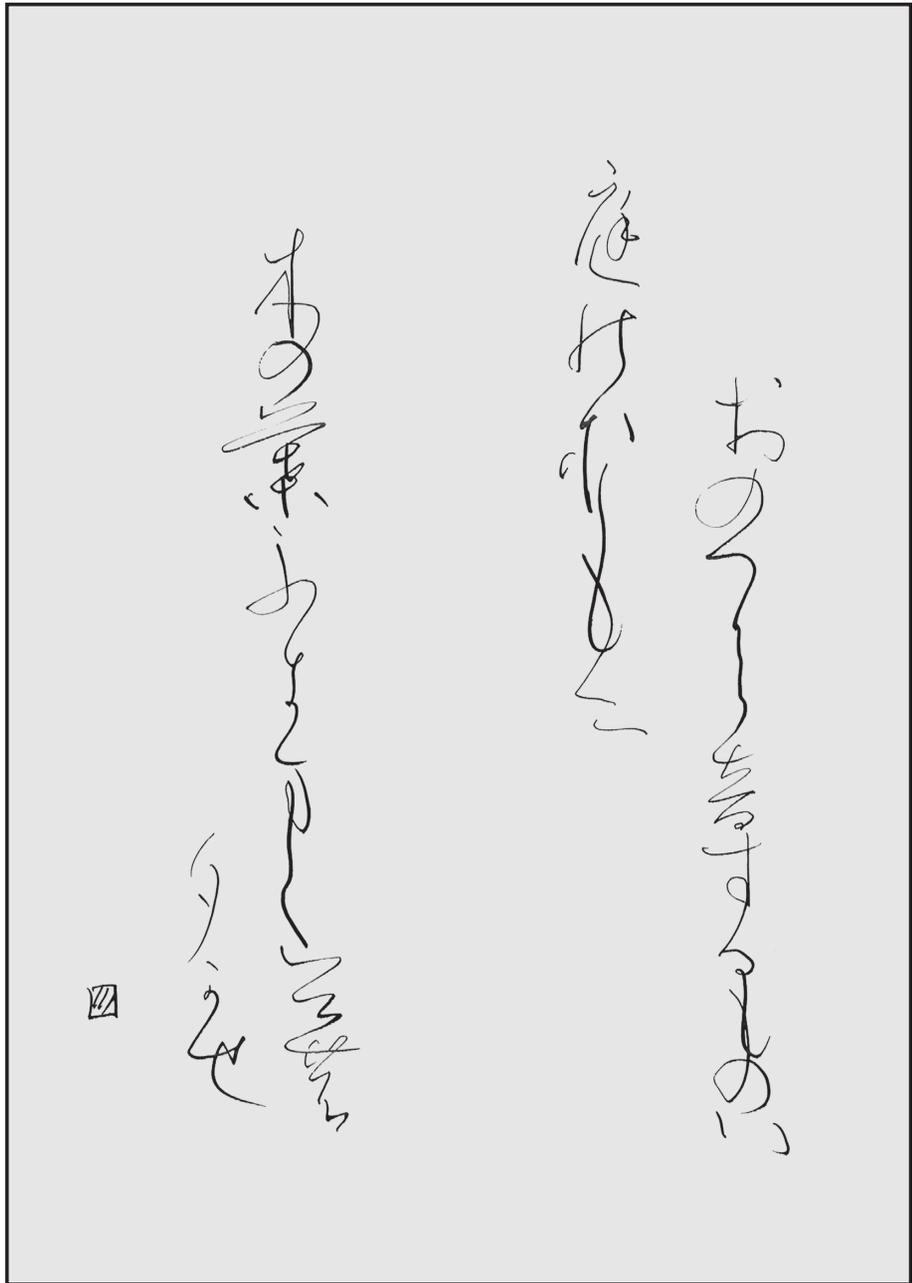
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

いずみしきぶぞくしゅうぎれ
和泉式部続集切



うみだれたれば
ものをのみだれてぞおもふたれにかはいまは
なびかむばたまのすぢ
みはひとつ心はちにくだくればさまぐも
のなげかしきかな



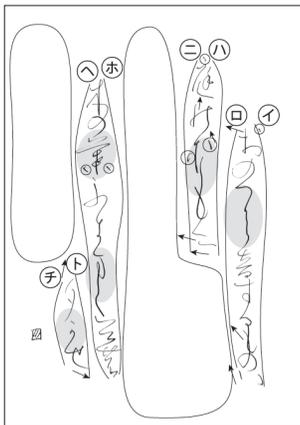
おのづから音するものは庭の面に
木の葉吹きまくる夕風

〔歌意〕この山の庵で時たま音を立てるものといつては、庭の面に木の葉を吹きつけて渦巻かせる谷の夕風だけだなあ。

〔出典〕新古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、①と⑤、①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、①と⑩、②と③、②と④、②と⑤、②と⑥、②と⑦、②と⑧、②と⑨、②と⑩、③と④、③と⑤、③と⑥、③と⑦、③と⑧、③と⑨、③と⑩、④と⑤、④と⑥、④と⑦、④と⑧、④と⑨、④と⑩、⑤と⑥、⑤と⑦、⑤と⑧、⑤と⑨、⑤と⑩、⑥と⑦、⑥と⑧、⑥と⑨、⑥と⑩、⑦と⑧、⑦と⑨、⑦と⑩、⑧と⑨、⑧と⑩、⑨と⑩
- 余白を大切に。
- ノの方向、○の位置に注意。

◆11月課題予告

風吹けば玉散る萩のした露にはかなく宿る野辺の月かな

締切り 10月25日(必着)

届いた宅配に家中が大喜びです。
丹精を込められたお母様の野菜は
本当に美味しく、子供達も楽しみ
にしています。来週末はお母様の
誕生日でしたね。当日は手作りの
ケーキを持って家族で参上します。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

届いた宅配に家中が大喜びです。
丹精を込められたお母様の野菜は
本当に美味しく、子供達も楽しみ
にしています。来週末はお母様の
誕生日でしたね。当日は手作りの
ケーキを持って家族で参上します。

横 書 き 課 題

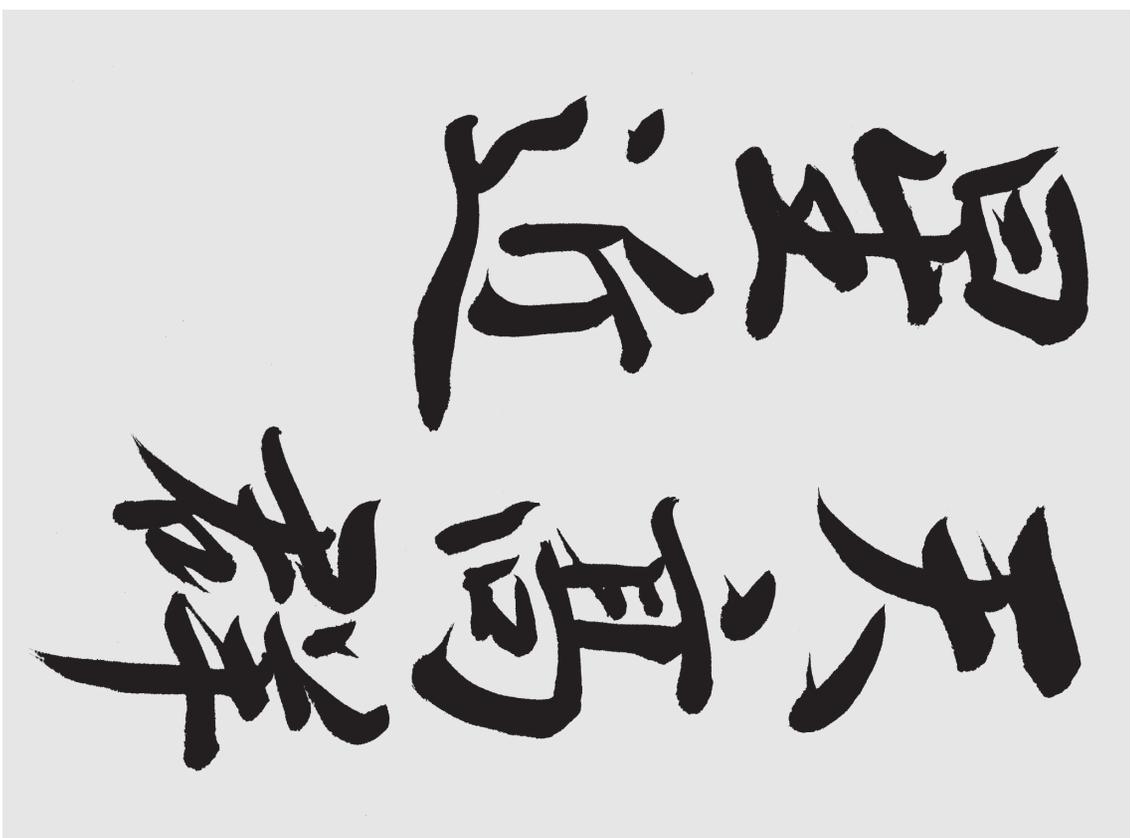
お 尾 郷 翠 光 書

自由の女神像は、アメリカ独立百
周年を記念しフランスが寄贈した。
熊本県阿蘇市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 10月25日(必着)



準初段から師範まで

新入から1級まで(行書)

奥村暢之 臨

須田一葉 書



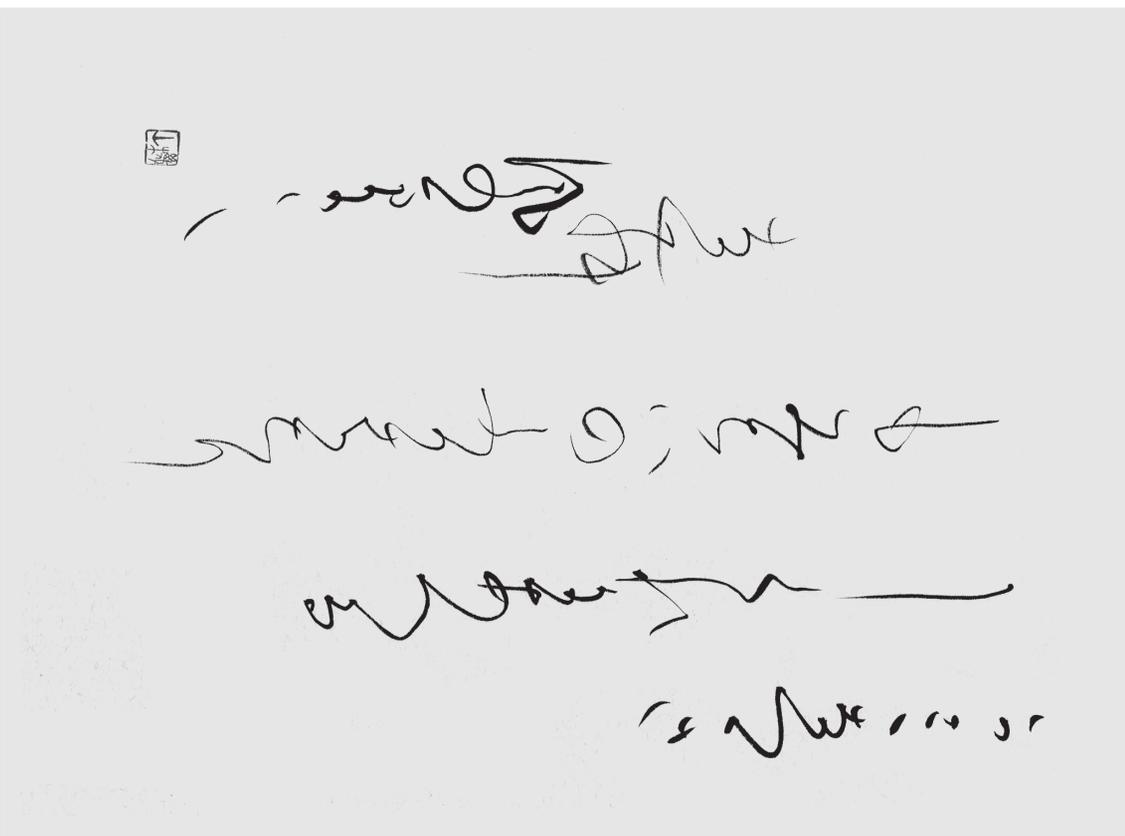
【出典】孔子廟堂碑 (626～633) 【筆者】虞世南 (558～638)
 【読み】 候こうを (虚むなしくし)、江海こうかいに波無なく、峰ほう (燈あひは)

【読み】 天高てんこうく群星ぐんせい近ちかし
 【大意】 天高く無数の星がとても近くに見える。

候 江 海 無 波 峰

一般部毛筆かな課題

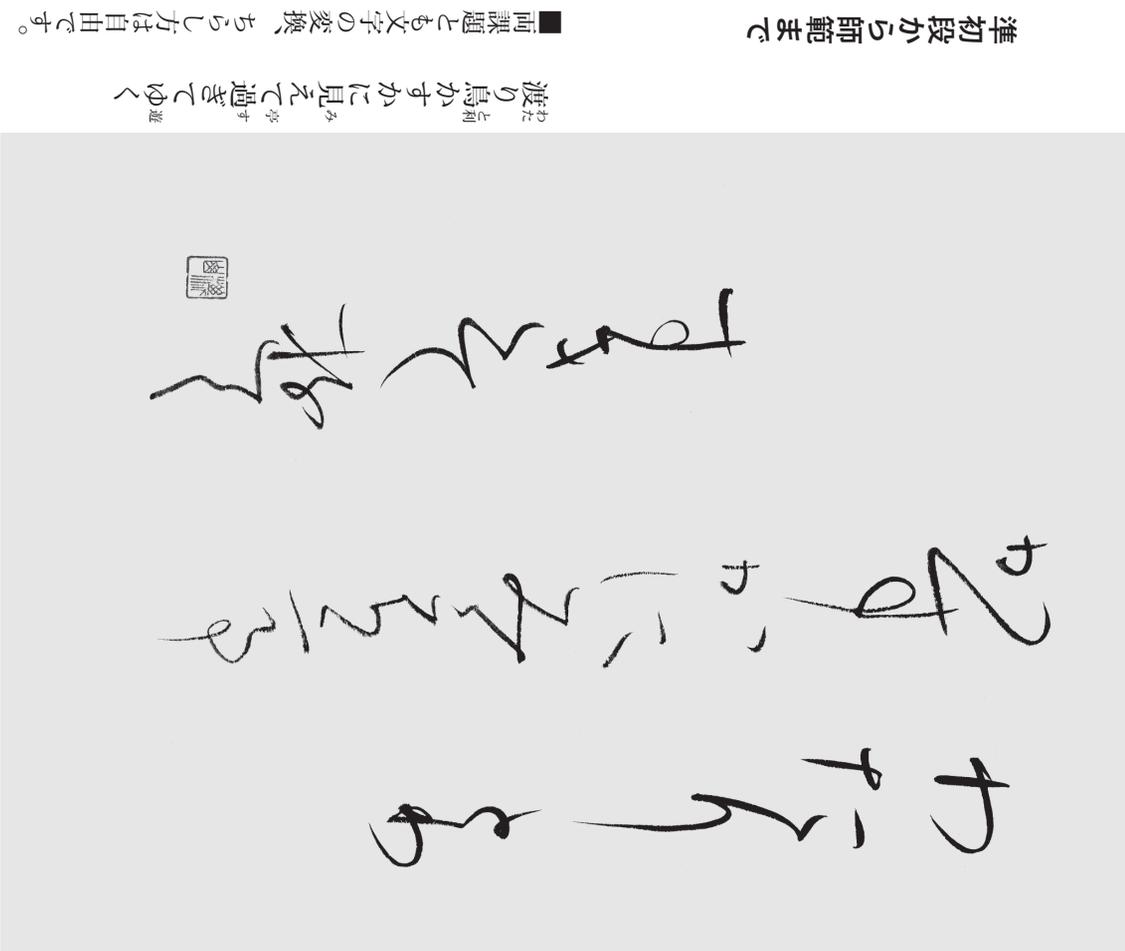
締切り 10月25日(必着)



可三奈つき 十月しぐれにあへる黄葉の
吹かば散りなむ風のまにまに
万 吹 散 舞 葉 風 万 風 舞 葉 風

【出典】 大伴池主

【歌意】 この十月のしぐれの雨に逢った黄葉は、風が吹いたならば惜しくも散ってしまうでしょう。その風に任せて。



わたりの鳥かすかに見えて過ぎてゆく
空を渡る渡り鳥のさまが、時の経過とともに視覚的に表現された句。

【出典】 星野立子

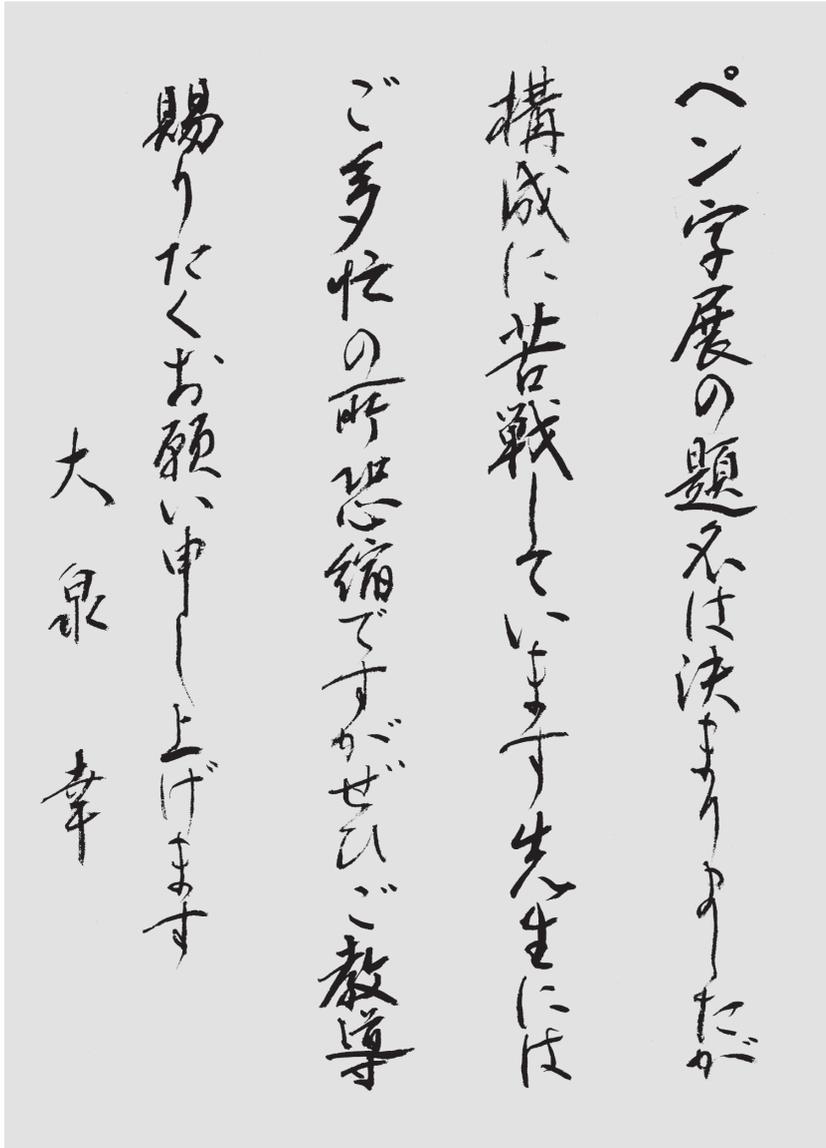
【句意】 大空を渡る渡り鳥のさまが、時の経過とともに視覚的に表現された句。渡り鳥のみを描いて、そこに万感の思いをこめている。

新入から1級まで

浅井機山先生書

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 十月二十五日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

荻田蒼仙書

- [条幅・細字作品の出し方]
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

ペン字展の題名は決まりましたが構成に苦戦しています先生にはご多忙の所恐縮ですがぜひご指導賜りたくお願い申し上げます
(ご自分の氏名)
・印で墨つぎしました。

〔条幅解説〕疎密を意識し文字の一部をツブス、あるいは墨量を入れ作品全体の迫力、強さを増す挑戦です。どの字も無難にきれいに書く事も大切ですが、時には大胆にぶっつけてみる冒険心も……そんな作例です。

初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔大意〕仙人の住む洞中の草は冬も枯れずに緑色で、その川べの霊山は冬がれれせずして青いのである。

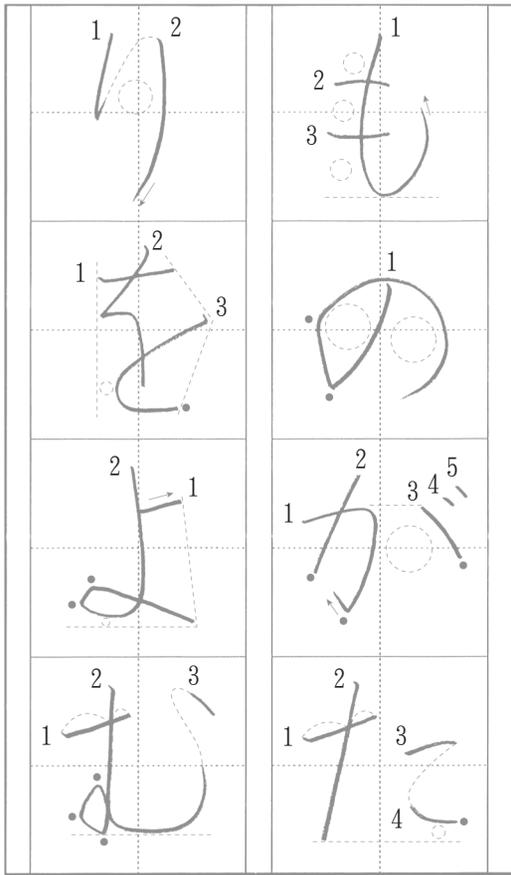
どうちゅうのせんそうげんとうみどり
洞中仙草、嚴冬、緑
こうがいのれいざんろうけつあおし
江外靈山臘月、青
霊業

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

小
一
年

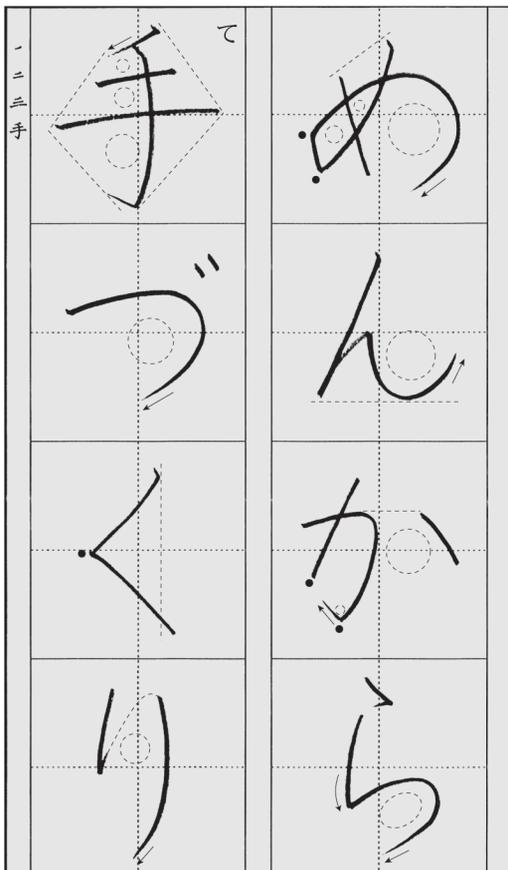


※山水(やまみず)

(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入1級

準初段以上



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

小二年

番	い	千
へ	近	円
行	く	を
っ	の	ひ
た	交	る

準初段以上

小三年

い	て	今
夏	雨	年
で	の	は
し	少	暑
た	な	く

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

い	千
交	円
番	ひ
へ	る

新入〜1級

少	暑
な	く
い	雨
夏	の

新入〜1級

※今年(ことし)単語としてこのように読みます。

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具 自由(黒色に限る)〉

な	シシ 江 海 海 海	海 ^{うみ}
べ		の
料	リヨウ	幸 ^{さち}
理	リ	で

新入〜1級

な	た	漁
べ	海	港
料	の	で
理	幸	買
を	で	っ

小四年

準初段以上

小四年以上 岡嶋桂川書

会	カイ	夢 ^{ゆめ}
話	ワ	実 ^{ジツ}
習	なら(う)	現 ^{ゲン}
兄	あに	英 ^{エイ}

解説(よく見て習いましょう)

話	る	夢
を	た	を
習	め	実
う	英	現
兄	会	す

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小六年

貨	ら	最
店	見	寄
の	え	り
看	る	駅
板	百	か

(全員)

※最寄り(よ)単語としてこのように読みます。

解説(よく見て習いましょう)

百	最
貨	寄
店	駅
看	見

〈用具 自由(黒色に限る)〉

中一年

指	と	品
し	安	質
た	定	の
管	を	向
理	目	上

(行書)

中二・三年

(行書)

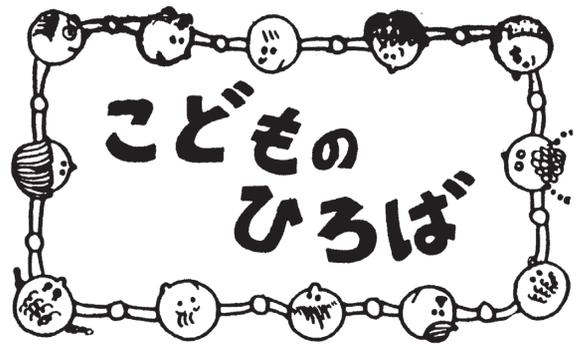
真	衣	世
を	装	界
撮	着	の
つ	て	民
た	写	族

▼小三年以下の課題 さか 酒 井 桂 月 書

目 ^め	赤 ^{あか}	そ	登 ^{のぼ}	長 ^{なが}
に	い	こ	り	い
と	門 ^{もん}	に	切 ^き	石 ^{いし}
び	が	山 ^{やま}	る	だ
こ		寺 ^{てら}	と	ん
む		の		を



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 10月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 はやし 林 すい 翠 ふう 風 書

封 ^{ふう}	日 ^に	集 ^{あつ}	最 ^{さい}	全 ^{ぜん}
切 ^き	本 ^{ほん}	め	多 ^た	米 ^{べい}
り	で	た	の	で
さ	間 ^ま	映 ^{えい}	観 ^{かん}	史 ^し
れ	も	画 ^が	客 ^{きゃく}	上 ^{じょう}
る	なく	が	を	



◎お手本はつけペン使用

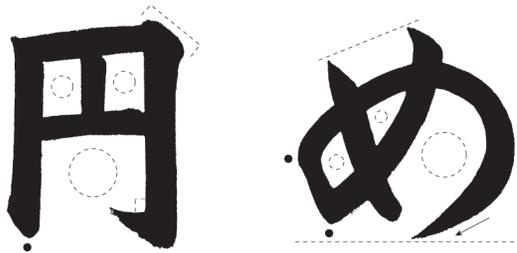
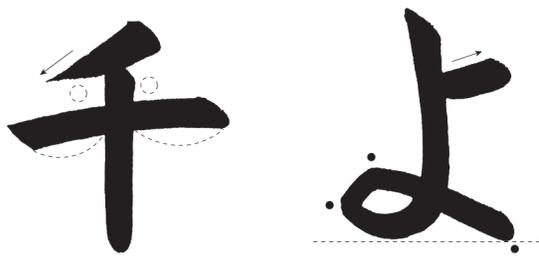
◇作品の出し方

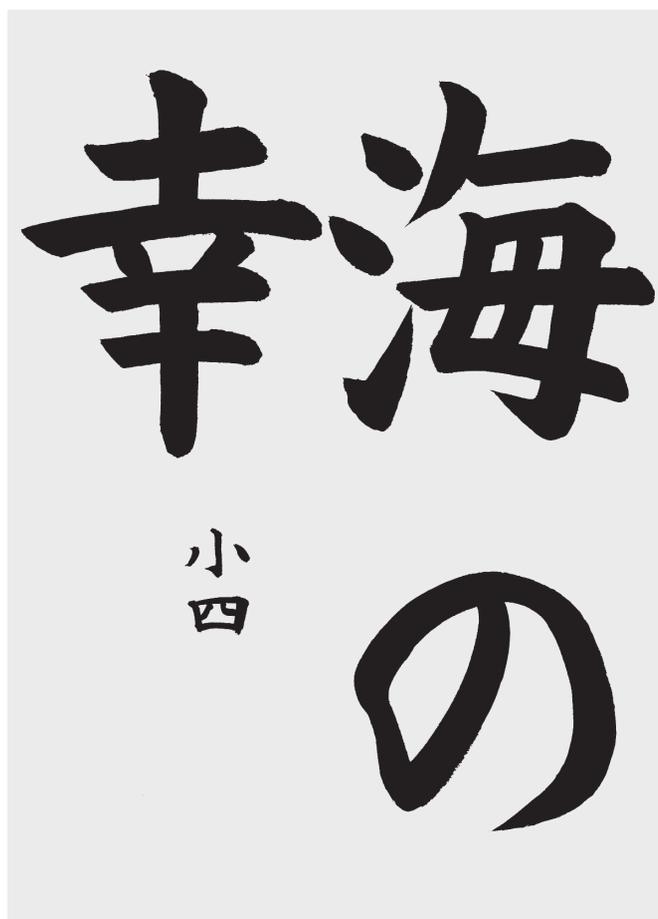
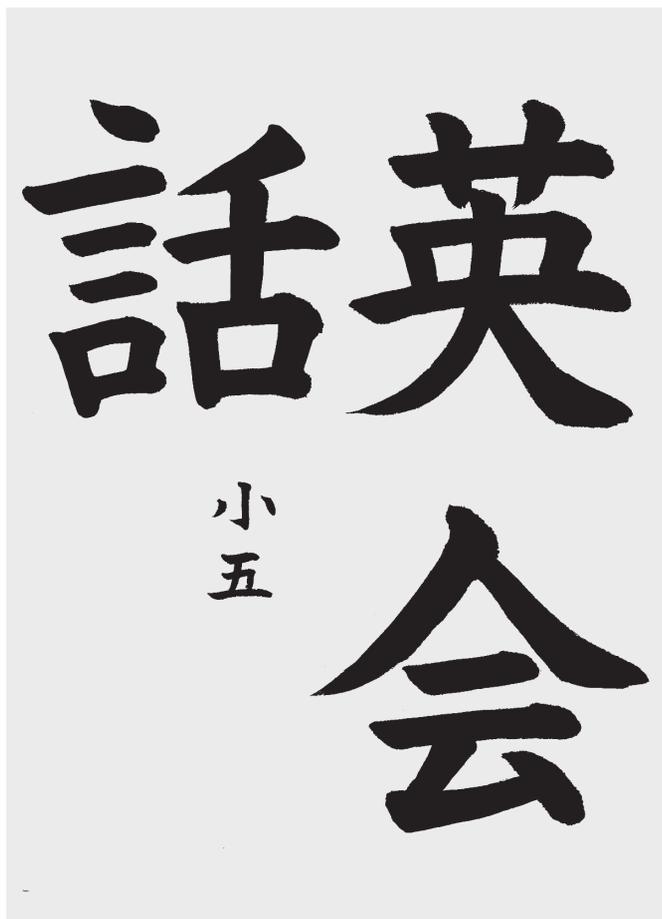
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年よ〜に二年
玉たま樹き
小しょう華か書





小三、小五年
水野香竹書

中二

民族

民族
衣装

小六

日最

日最
駅寄

小六・中二・三年

奥村暢之書

理

最

族

駅

衣

品

管品

管品
理質

◎気脈を大切にしよう

中心

大

小